

熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体的な取組について

部局等名(生命資源研究・支援センター)

目標1:男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。
<ul style="list-style-type: none">・ 男女の隔たりのない教育環境の整備を行っている。また、卒業生との交流や情報共有により、学部や大学院（修士および博士）終了後のキャリアパスを紹介している。・ 放射線安全管理に役立てることができる放射線に対する正しい理解を目的としたグループワークや勉強会を行っている。
目標2:男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。
<ul style="list-style-type: none">・ 居室や実験スペースを適切に確保し、個々の関心に応じて研究を実施できるように、男女隔たりなく研究計画の立案と助言を行っている。・ 男性および女性研究者との交流や研究所への訪問、学会への参加を促している。・ 研究の効率的な推進や研究環境を整備するために事務補佐員や技術補佐員を採用し、主に女性の活躍の場となっている。・ コロナ禍での急な子どものケアなどを含め、育児と研究・業務が両立できる研究環境整備に取り組んでいる。・ 放射線に関する国内外の学会、研究会及び研修会への参加の促進を図っている。
目標3:男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。
<ul style="list-style-type: none">・ 男女隔たりなく次世代リーダー育成プログラムである HIGO プログラムへの参加を積極的に進めている（令和三年度：2名）。・ エジプトから研究希望学生がいるので、留学生となる為の手続きを行っているところであり、女性研究者の育成をする予定である。・ マウスリソースに関する国内および国際社会における役割を説明し、本事業の推進に貢献する研究活動への参加を促している。・ 放射線に関する基礎知識の啓発や原子力事故対応の被ばく医療研修などへの講師派遣を促進している。
目標4:次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。
<ul style="list-style-type: none">・ 動物実験、生命資源、遺伝子組換え生物、放射線の取り扱いに関する専門知識の習得を促すと共に、男女が働きやすい環境の整備に努めている。・ 放射線安全管理に関する国家資格などの取得ができるように職場での教育支援を促進している。・ 女性研究者が活躍の場を広げるため、第1種放射線取扱主任者資格取得を目指して

いる（1次試験を通過）。

その他：目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。

- ・ 教員公募の際に、男女共同参画を推進していることを示す「熊本大学は、男女共同参画を推進しています。」を記載している。
- ・ 妊婦の方などが臥床できる休憩室（動物資源開発研究施設 新館 600 室）を設置している他、ソファ（遺伝子実験施設 6F608 室）・リフレッシュルームの休憩用ベンチ（共用棟 1F）を休憩スペースとしている。

※ 各部局で実施したセミナー等の資料等がありましたら、添付してください。

※ 1ページ以内に収める必要はありません。行は適宜広げていただいて構いません。